

製品名: ERK1/2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03741**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 44,42 kDa; Observed MW: 44,42 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPK3/MAPK1
別名	MAPK3; ERK1; ERT2; ERK-1; PRKM3; P44ERK1; P44MAPK; HS44KDAP; HUMKER1A; p44-ERK1; p44-MAPK; MAPK1; ERK; p38; p40; p41; ERK2; ERT1; ERK-2; MAPK2; PRKM1; PRKM2; P42MAPK; p41mapk; p42-MAPK.
遺伝子 ID	5595/5594
SwissProt ID	P27361/P28482
免疫原	-

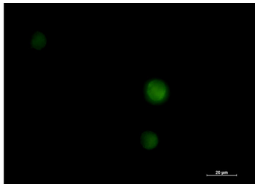
背景

セリン/スレオニンキナーゼは、MAP キナーゼシグナル伝達経路の必須構成要素として機能します。MAPK1/ERK2 と MAPK3/ERK1 は、MAPK/ERK カスケードにおいて重要な役割を果たす 2 つの MAPK です。これらは、活性化 KIT および KITLG/SCF によって開始されるシグナル伝達カスケードにも関与します。細胞の状況に応じて、MAPK/ERK カスケードは転写、翻訳、細胞骨格の再編成を制御することにより、細胞の成長、接着、生存、分化など、多様な生物学的機能を媒介します。

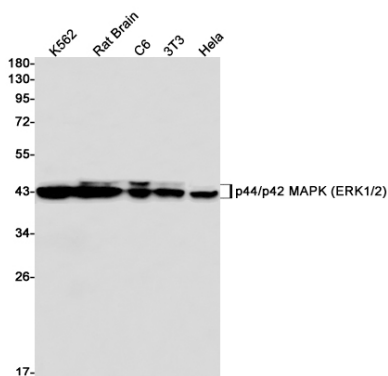
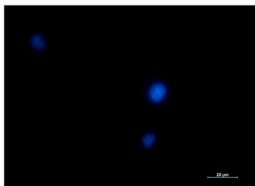
研究分野

細胞生物学

画像データ



ERK1/2 抗体および DAPI (青) を使用した K562 における ERK1/2 (緑) の免疫細胞化学分析。



p42 MAPK (ERK2) 抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の p42 MAPK (ERK2) のウエスタン ブロット分析。